

1 単元 unit6 ベッキーのおばあちゃん

2 教科の目標

3人称単数形の用法を理解し、簡単な英語で友人を紹介することができる

3 活用したICT

電子黒板 プロジェクタ プレゼンテーションソフト 学校放送番組のDVD

4 活用したICTの特性

- ・ アメリカの風景の写真とAETの写真を合成して加工した写真を使って紹介することで、本単元への興味関心を高める（電子黒板 プレゼンテーションソフト）
- ・ 学校放送番組「語順ガールズ」の映像を活用して説明することで、3人称単数形の文章の作り方の理解を深めることができる。（学校放送番組のDVD）
- ・ 先生の写真をプロジェクタで映し出すことで、どの先生のことをスピーチしているか共通理解ができ、興味をもってスピーチを聞くことができる。（プロジェクタ）

5 実践の様子

- ① アメリカに住む友達という設定で作ったスライド（資料①）を電子黒板で提示しながら、AETに友達紹介をしてもらった。生徒は、写真と英文を聞きながらディクテーションをした。写真に身近な先生が登場することと、アメリカの文化が分かる写真を見せながら英文を聞くことで、楽しみながらディクテーションができた。答え合わせでは、3人称単数のsが動詞につくことを確認した。
- ② 3人称単数のsについての説明している学校放送番組の「語順ガールズ」（資料②）を視聴した後、同様の語順カードを使って説明をした。どうして、sが付くのか、また、英文の作り方について理解を深めることができた。
- ③ 数人の同学年の先生の写真を選び、友達紹介の文を作った。プレゼンテーションのディクテーションで、紹介文のイメージができていたため、みんなが積極的に写真を選んで文を作ることができた。
- ④ 作った英文をもとに、プロジェクタで先生の写真を提示しながら紹介のスピーチをした。選んだ写真が見ている生徒に伝わるので、聞き手は興味をもってスピーチを聞いていた。



6 成果と課題

- 導入で先生の写真を加工して作ったプレゼンテーションをAETにしてもらうことで、生徒は同じように紹介できるようにしたいと、共通の目的意識をしっかりと持ち学習に入ることができた。
- 学校放送番組を活用することで、単調になりやすい文法説明を集中して聞くことができていた。同じ語順カードを次時の授業からも活用することで、文の作りへの理解を深めることができた。
- 写真をプロジェクタで見せながらのスピーチをすることで、聞き手がだれの紹介か共通理解をしながら聞くことができた。
- プレゼンテーションやDVDや写真を見るだけでは、理解した気になって3人称単数の用法が定着しない生徒がいた。授業の時間配分を考え、定着のために指導する時間をとる必要があった。